



### ↑ かまいしの汚水処理(平成17年度末)

#### 1. 経過と現状

釜石市の公共下水道は昭和32年に雨水の排除を主目的として事業着手されました。事業変更により汚水処理施設を加えて、大平処理区で昭和53年、上平田処理区で昭和55年度から処理を開始しています。漁業集落排水施設では室浜で平成14年度から、農業集落排水処理は栗林で18年度に開始しています。また現在唐丹漁業集落排水に着手しています。その他の区域も順次整備を進めてゆく予定です。

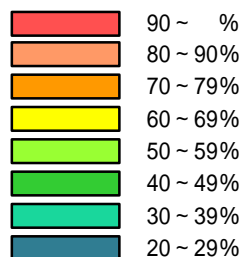
排除方式は、中妻排水区の一部約37haのみが合流式、他は分流式です。合流区域では改善計画を進めています。

#### 2. 普及率

釜石市の汚水処理人口普及率は62.4%で、県内45市町村(合併後)中15位です。内訳は、公共下水道が53.2%(23,006人)、合併処理浄化槽が8.7%(約3,768人)、漁業集落排水処理が0.5%(約210人)です。

#### 3. 雨水排水

雨水排水ポンプ場は、鶴住居が昭和57年度から、鈴子が平成11年度から供用されています。



### ↪ いわたの普及状況

平成17年度末県内各自治体の汚水処理人口普及率です。平均は64.8%で、全国37位、東北では4位(福島と同率)という低い値です。岩手県では「いわて汚水適正処理ビジョン2004」により、公共下水道の他、農漁業集落排水処理、合併処理浄化槽等の合計で、平成22年度末普及率80%を目標としています。